

# 平成23年度川崎区区民会議フォーラムプログラム

## ～地域活動によって地域が変わる～

日時：平成23年12月10日（土）13時30分～16時（開場13時）

開場：川崎区役所7階会議室



### 1 開会 (13:30-13:35)

(1) 主催者あいさつ

(2) 区長あいさつ

### 2 東日本大震災被災地への派遣職員による活動報告 (13:35-13:55)

報告者：川崎市臨港消防署警防第1課長 鈴 伊知郎 消防司令長

### 3 講演「地域活動によって地域が変わる～今、私たちができること～」

(13:55-14:35)

講師：大下 勝巳氏（川崎市自治推進委員会委員）

～休憩(14:35-14:45)～

### 4 パネルディスカッション 「第3期川崎区区民会議の取組を振り返って」

(14:45-15:50)

□コーディネーター 大下 勝巳氏

□パネラー・川崎区区民会議委員

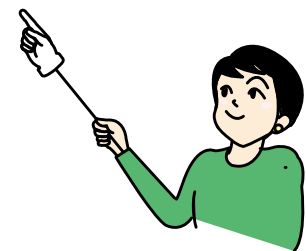
魚津 利興（委員長） 荒井 敬八（副委員長）

島田 潤二（副委員長） 星川 孝宜（高齢者部会部会長）

朴 栄子（子ども部会部会長） 木島 千栄（環境部会部会長）

### 5 参与コメント (15:50-15:55)

### 6 閉会 (15:55-16:00)



#### 【講師：大下 勝巳氏プロフィール】

川崎市自治推進委員会委員。NPO法人かわさき創造プロジェクト代表理事。おやじの会「いたか」世話人。川崎おやじ連運営委員。健康生きがいづくりアドバイザー。

社団法人日本広報協会に勤務する一方、約30年前より地域活動を始め、その活動を生かして川崎市社会教育委員を歴任。平成17年4月、全国初の民間人区長として川崎市宮前区長に就任し（平成20年3月まで）、区民との「協働」のもと、地域課題の解決や、団塊世代の地域受け入れ体制の整備などシニア施策にも力を注いだ。世界遺産・熊野古道の75kmを1週間かけて歩くなど、山歩きや散策を愛好している。

### 第 3 期川崎区区民会議委員名簿

任期：平成 22 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

50音順、敬称略

No.	氏名	推薦団体・分野など		専門部会			
				幹	高	子	環
1	あかま やすお 赤間 靖夫	川崎区まちづくりクラブ	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野		○		
2	あらい けいはち 荒井 敬八	川崎区文化協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野	○			
3	いしわた かつろう 石渡 勝朗	川崎区保護司会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
4	いのくま としお 猪熊 俊夫	かわさきタウンマネージメント 機関運営協議会	⑤産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野		○		
5	うおつ としおき 魚津 利興	川崎商工会議所	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野	◎			
6	きじま ちえ 木島 千栄	公募		○			●
7	こいずみ ただゆき 小泉 忠之	川崎区民生委員児童委員協議会	③子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野			○	
8	しまだ じゅんじ 島田 潤二	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会	①防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野	○			
9	すずき しん 鈴木 真	川崎区医師会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
10	とみた よりと 富田 順人	社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会	②福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野		○		
11	ながしま とおる 長島 亨	川崎区連合町内会	⑦地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野				○
12	ぱく よんじゃ 朴 栄子	川崎市ふれあい館	⑧その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野	○		●	
13	はた たくじ 秦 琢二	川崎区PTA協議会	③子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野				○
14	はっとり まさお 服部 正夫	財団法人 川崎市老人クラブ連合会	区長推薦		○		
15	ふかさわ かおり 深澤 香織	すくすくかわさきっ子	区長推薦			○	
16	ふじおか れいこ 藤岡 玲子	川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会	④緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野				○
17	ほしかわ たかよし 星川 孝宜	公募		○	●		
18	みやざき ことみ 宮崎 とみ子	公募				○	
19	よしの ちさお 吉野 智佐雄	特定非営利活動法人 かわさき歴史ガイド協会	⑥文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野		○		
20	わしず たかし 鷲頭 多加志	公募					○

※専門部会欄の幹は幹事会、高は高齢者部会、子は子ども部会、環は環境部会

※専門部会欄の「◎」は委員長、「●」は部会長



# 東日本大震災への 派遣を終えて

## 川崎市の状況

- この地震で川崎市も被災しました。
  - けが人 17名(重傷者5名 軽症者12名)
  - 火災 川崎区 2件
  - エレベータの閉じ込め 21件(22名を救助)
  - 建物の被害 23棟
- 避難者
  - 市内の各小・中学校に最大5,472名が、避難しました。









# 第一京浜国道の道路渋滞及び帰宅困難者



東京方面





# 東日本大震災における

## 川崎市消防局の活動

- 宮城県仙台市における救助活動

3月11日から3月20日まで

- 福島第1原子力発電所における放水活動

3月24日から3月26日まで

- 千葉県市原市における

### 液化石油ガスタンク火災

3月11日から3月13日まで

- 福島県における救急活動

航空隊 4月2日から4月30日まで

救急部隊 3月31日から6月9日まで



**千葉県市原市コスモ石油 (株)  
液化石油ガスタンク 火災発生状況**



**火災の発生時間  
3月11日15時47分頃**





発生時間 3月11日15時47分頃

1回目 17時03分

2回目 17時17分

3回目 17時25分

鎮火 3月21日10時10分





# タンクヤード全面火災



鎮火 3月21日10時10分



# 宮城県仙台市における救助活動

仙台市若林区  
高速道路上から海岸方向を確認  
防災機関がはじめて活動に着手する地域







川崎相模線  
第15区 (57名)

~~川崎 横須賀 藤沢 小田原 湯河原 是箱~~

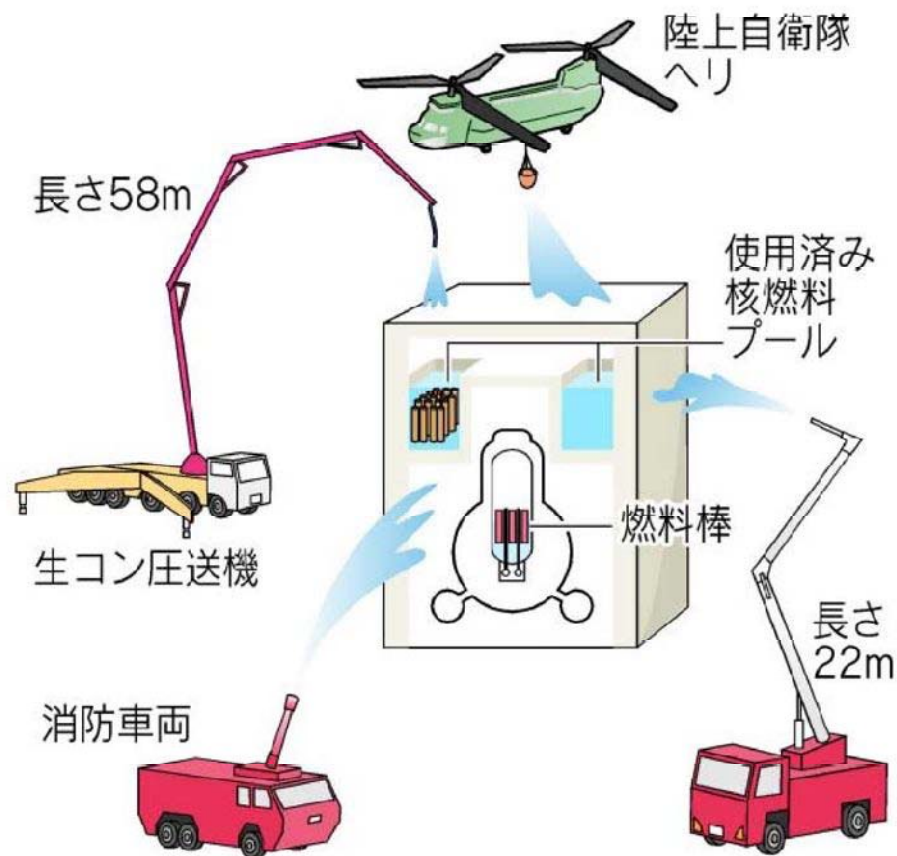
川崎	藤沢	茅ヶ崎	寒川	二宮
32名	シゲワ オダワ ツリヤ マエダ クロセ ササキ ヨシハ 伊藤ト ヒロカ アサハ (41)	オダワ カクシ キン ニノダ ヨシカ (5名)	伊藤 ナカハ チウチ スギノ チカマ (5名)	ハヤシ アサハ イマ ヒラシ アサハ (5名)





# 福島第1原子力発電所における放水活動

福島第1原発への放水作戦のイメージ図



第3号炉の使用済み核燃料プールの冷却放水



# 活動拠点と災害現場の位置関係





就寝場所



# いわき市総合体育館

## 川崎市消防局隊の 宿営場所

作戦会議の風景





25日7時30分 いわき市総合体育館出発

## Jビレッジ (前線基地)

全国から集められた放射線防護服など



除染テント







## Jビレッジ建物内部



指揮本部 (Jビレッジ)

20名 (総員36名)

後方支援隊

進入部隊 (16名)

先遣隊

放水開始隊

放水停止隊

特殊災害対応隊

↓  
原発内部の  
情報収集  
車両の部署  
ホースライン  
の確認

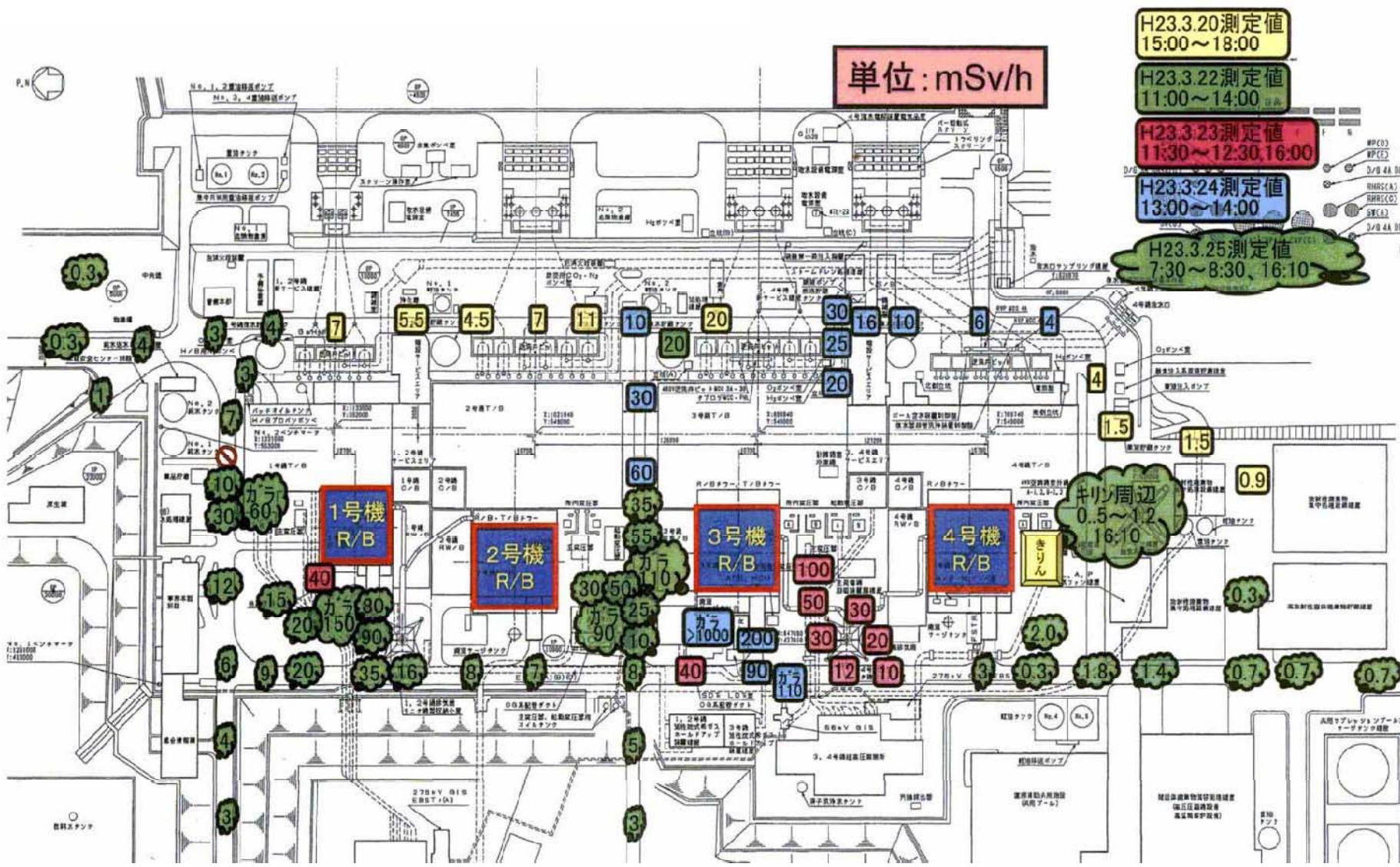
↓  
放水の開始  
放水位置の  
修正

↓  
放水の監視  
放水の停止

↓  
進入隊員の  
管理  
緊急時の救  
助活動



# 放水活動を実施日の福島第1原発第3号炉付近の放射線状況



## 原発周辺の被災状況





# 25日11時50 原発に進入



先遣隊により原発内部の状況確認を実施



福島第1原発正門



ホースの流れや結合状況



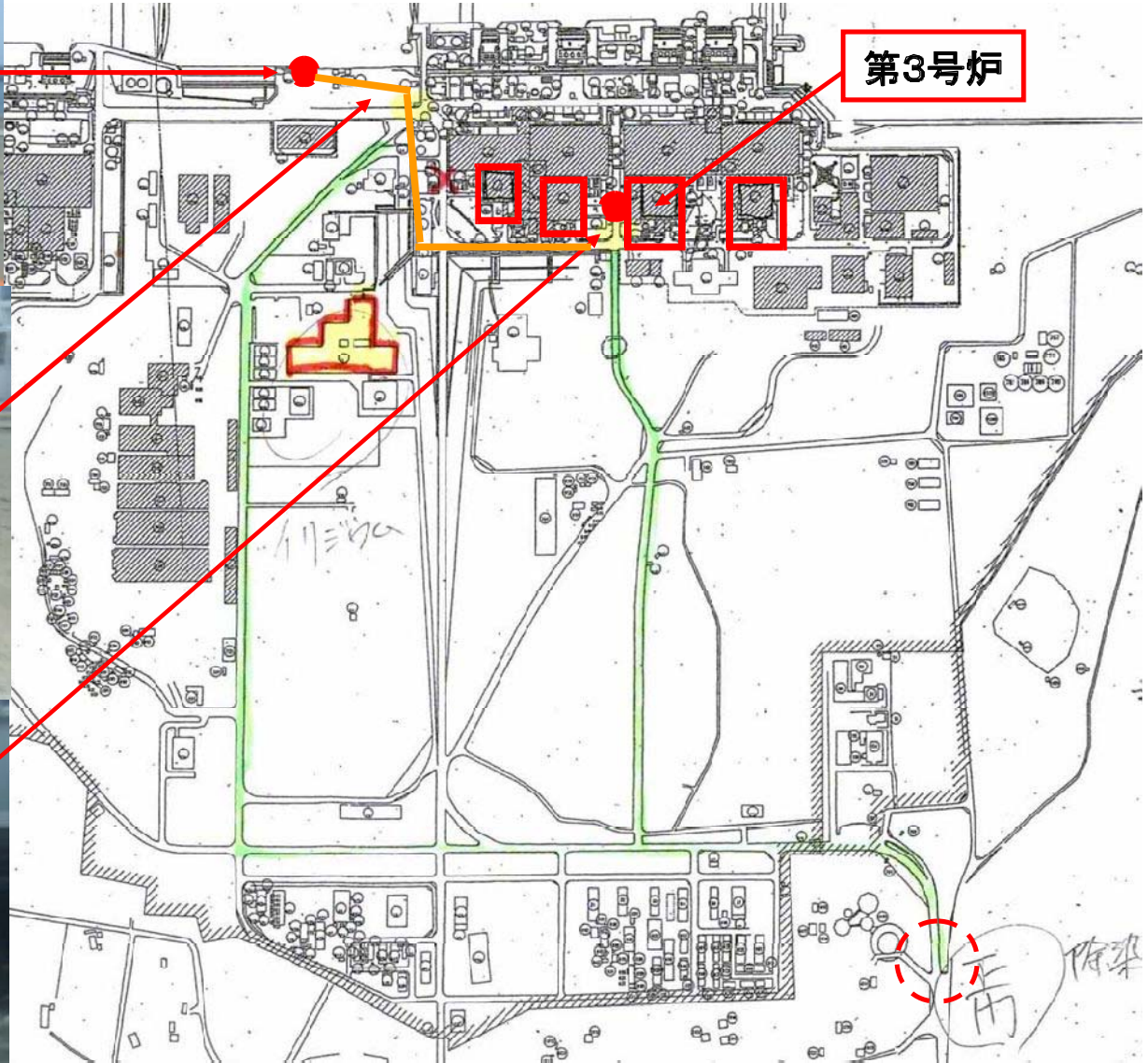




## 原子炉建屋の破損状況



# 各車両の配置とホース延長経路



	阪神淡路大震災	東日本大震災
地震の強さ (最大震度)	マグニチュード7.3 (震度 7)	マグニチュード9.0 (震度 7)
死者	6,434 名 (死者の約80%が建物の倒壊による圧死)	16,079 名 (死者の90%以上が水死)
行方不明者	3 名	3,499 名
焼損件数	293 件 (全焼 7,036 棟)	286 件 (棟数は調査中)
住宅被害	全半壊 249,180 棟	全半壊 309,732 棟 (詳細は現在調査中)
被害総額	約 10 兆円	調査中



## 地域活動によって地域が変わる

～今、私たちにできること～

大下勝巳

### 1、地域活動は自分（たち）に返ってくる

- ・地域の身近な生活の課題を
  - ・自分（たち）のテーマとしてとらえ
  - ・自分たちの力で解決する
- ★「個」から「公」へ
  - ★当事者意識 市民から市民へ
  - ★自助、共助 ⇒ 公助

⇒⇒ \*人が集まる、つながる  
\*信頼の関係ができる  
\*お互い様・支え合う関係  
(ボランティアのこころ)

地域力。合意する力。  
暮らしやすい地域へ。  
社会関係資本⇔社会資本

### 2、市民と行政とが力を合わせる「協働」

- ・地域の課題・ニーズが多様化。  
すべて行政が担うには困難な状況  
⇒・“新しい公共”を市民が担う。
- ★超高齢社会。少子化。育児・介護
- ・共同、協同、そして協働＝共通の目標。異なる立場で特徴を発揮する  
行政だからできる事 } 法律に基づく。公平性、平等性・  
市民活動だからできること } 柔軟な対応、経験・専門性、地域性人脈
- ・自治会町内会、市民活動団体、NPO 法人、シニア世代・各活動団体。行政。

### 3、地域課題の解決を図る「協働」の拠点・・・区役所

- ・区民のための、区民による区民会議。  
\*区内の課題を把握⇒審議課題・テーマを決定⇒解決策を検討⇒区長に報告  
区長⇒区民の自主的な取組、協働による取組、行政による取組。
- ・課題：社会資本（人間関係資本。社交資本）の蓄積 ⇔ 地域活動への参加

---

#### \*地域活動に関連して

- ・長谷川一夫先生「健康と生きがいはワンセットのもの。一体である」
- ・日野原重明先生「老いることは楽しい。やったことのないことができるから」
- ・生きがい・やりがい。「必要とされる自分」づくり。「自分の存在は何のためか」

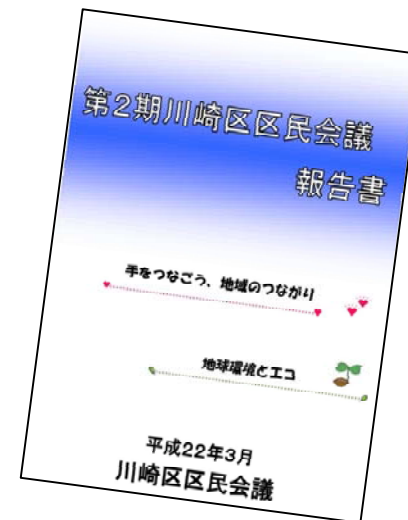
# 第3期川崎区区民会議 の審議・取り組み経過

- 高齢者部会
- 子ども部会
- 環境部会



## 平成23年度第3期区民会議の審議スケジュール

- これまでに全体会議を2回開催
- 専門部会を合計13回開催  
(高齢者:5回、子ども:4回、環境:4回)  
↓
- 今後、これまでの地域の課題解決策に向けた審議や取り組みの結果(解決策)を報告書としてまとめ、区に提出します





# 高齢者部会の取り組み

## 審議テーマ

「高齢者に優しいまちづくり」

## 審議課題

「高齢者に対する環境づくり」

「生きがい、社会貢献」

## 課題解決策

- ① 「高齢者向けのウォーキングマップ作成、  
地域の散策」
- ② 「コミュニティバスの導入」



①高齢者向けのウォーキングマップ作成、地域の散策

ウォーキングガイドブック改訂版の作成を提案

■ バリアフリーの視点に配慮した情報で安全・安心

- ・ コース上の階段・勾配の有無
- ・ 交通量や道路上の段差
- ・ トイレ、ベンチ、休憩ポイント など

■ 観光情報を掲載し地域の魅力を発信



(今後の予定)

■ 作成中のウォーキングガイドブック(改訂版)の検証

# ①高齢者向けのウォーキングマップ作成、地域の散策

## コース(案)

	1	2	3
コース名	川崎駅～富士見公園コース	川崎駅～新町公園コース	東海道川崎宿めぐりコース
	4	5	6
コース名	京急川崎大師駅～大師公園コース	大師御利益めぐりコース①	大師御利益めぐりコース②
	7	8	9
コース名	多摩川六郷の渡し～水位観測所コース	追分まんじゅう～桜川公園コース	小田公園～緑道～小田公園コース



## ②コミュニティバスの導入

### ■ 地域交通に関する問題の洗い出し

- ・ 大師地区・小田地区間の移動が困難
- ・ J R川崎駅東口から西口への移動が困難
- ・ J R川崎駅周辺地区内の回遊性が低い

### ■ コミュニティバスの導入事例の把握・分析

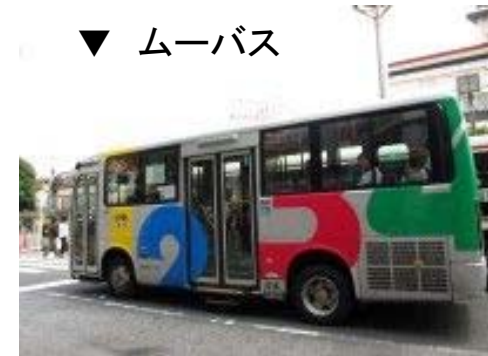
- ・ ムーバス（東京都武蔵野市）
- ・ みらい（川崎市宮前区）
- ・ やまゆり（川崎市麻生区）

### ■ アンケート調査の実施

対象：区内在住の高齢者、障害者、妊婦、乳幼児の親など  
 期間：平成23年11月10日(木)～12月16日(金)

### ■ アンケート調査結果の分析

▼ ムーバス



▲ みらい

# 子ども部会の取り組み

## 審議テーマ

「元気な子どもが育つまちづくり」

## 審議課題

「地域での子育て、子どもの居場所づくり」

「子どもの健康を考える」

「世代間交流による子育て」

## 課題解決策

- ① 「地域の人と子育て中の親が出会う場所づくり」
- ② 「こころの居場所づくり・不登校支援」
- ③ 「自由に思いきり遊べる場所づくり」
- ④ 「健康推進に関する取組」
- ⑤ 「世代間が交流する場の拡充」





## ①地域の人と子育て中の親が出会う場所づくり

- 身近な地域における交流事例の把握
- 地域全体で子育てを支える仕組みづくりについて検討
- 区内各施設・団体における世代間交流プログラムの実施について検討

## ②こころの居場所づくり・不登校支援

- 調査結果や市の取組からみる不登校の現状の把握
- 区内の不登校の現状に関するヒアリングの実施
- 不登校の現状を知ってもらいきっかけとなるような取組の検討

## ④健康推進に関する取組

### 「健康出前講座」の実施を提案

テーマ：食育、歯科保健、タバコなどの依存性物質の害、予防接種など  
 自分の健康を考える  
 対象：区内の中学校1年生



(今後の予定)

- モデル校での実施結果の検証
- モデル校以外での啓発を進める事業展開の検討
- 地域の人と協働で取り組む方策の検討

## ⑤世代間が交流する場の拡充

### ■ モデル事業として「カローリング交流会」を開催

日時・場所：平成23年10月10日（祝）、市体育館  
 参加者：区内の子ども、子育て中の親、高齢者などを中心とした約80人



(今後の予定)

### ■ 地域単位で世代間交流を深める方策の検討



# 環境部会の取り組み

## 審議テーマ

「みんなが住みたい川崎区」

## 審議課題

「地域緑化」

「区民の環境意識向上」

「区のイメージアップ」

## 課題解決策

- ① 「環境意識向上ポスター作成継続・拡充」
- ② 「“区の花”制定」



## ①環境意識向上ポスター作成継続・拡充

### ■ 川崎区地球環境問題啓発ポスターコンクールの開催

- ・対象：区内の小学校6年生
- ・区内11校が参加し、合計104点の応募
- ・表彰式の実施
- ・応募作品を区内の公共施設・商業施設で展示
- ・最優秀作品をポスター加工し町内会・自治体の掲示板に掲示



### ■ 第3回“環境の広場”展の開催



◀ 最優秀賞作品  
(渡田小学校 外間メグミさん)

### ■ 環境意識向上ポスターの拡充及び展開方法の検討

## ②「区の花」制定

### 「区の花」制定の提案



- 「区の花」「区の木」の制定を決定
- 川崎区「区の花」「区の木」選考委員会の立ち上げ
  - ・ 公募の実施
  - ・ 最終候補を区に提出

### (今後の予定)

- 「区の花」「区の木」の活用案の検討
  - ・ 地域・学校・企業との連携（植樹・イベント協力など）
  - ・ 四季を通じた活用の仕組みづくり（区内イベントへの相乗りなど）
  - ・ 環境意識向上ポスターのテーマとする
  - ・ 育て方教室の開催

